

令和 8 年度 第 3 回 運営推進会議（小規模多機能型居宅介護）

事業所名	あすならホーム東生駒 多機能型ケアホーム																																																										
開催日時	令和 8 年 9 月 18 日（金）10:30～11:00																																																										
開催場所	あすならホーム菜畑 サロン（オンライン参加併用）																																																										
出席者	(1) 利用者及びご家族 欠席 (2) 地域・医療・介護 7 名 (3) 生駒市役所 1 名 (4) 地域包括支援センター 1 名 (5) 協同福祉会 3 名																																																										
議題	1. 開会のあいさつ 2. 参加者自己紹介 3. 活動状況報告 ・介護度別登録状況 令和 8 年 7 月 登録者数：29 名／29 名（平均介護度：2.44） 女性：23 名 男性：6 名 平均年齢 女性：86.4 歳 男性：82.4 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>9</td><td>5</td><td>8</td><td>2</td><td>3</td><td>0</td><td>29</td></tr></table> 新規利用： 0 名、契約解除： 1 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 令和 8 年 8 月 登録者数：28 名／29 名（平均介護度：2.42） 女性：22 名 男性：6 名 平均年齢 女性：83.6 歳 男性：83.6 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>8</td><td>5</td><td>9</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td>28</td></tr></table> 新規利用： 1 名、契約解除： 1 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 ・サービス別利用状況 <table><tr><td></td><td>通い（月平均）</td><td>泊り（月平均）</td><td>訪問（延べ回数）</td><td>短期利用数</td></tr><tr><td>7 月</td><td>17.1 名</td><td>8.32 名</td><td>710 回</td><td>1 名</td></tr><tr><td>8 月</td><td>17.7 名</td><td>8.96 名</td><td>701 回</td><td>0 名</td></tr></table> ・地域との連携に関する報告 ・日常のサービス提供内容・実績（サービス事例）報告 ・6 月の大雨により自宅が床上浸水した利用者 2 名について、居宅の復旧までの期間、継続して宿泊サービスを提供。住環境の復旧後について、本人の状態及び希望を踏まえ、必要な在宅サービスを継続する予定。 ・排便困難が見られた利用者に対し、家族と連携して食事内容、水分摂取、排泄の習慣等を見直した。生活状況の改善に伴い排便状態及び身体状況が安定し、薬剤の調整と併せて生活の安定につながった。 ・今後も「通い・泊まり・訪問」の機能を柔軟に組み合わせ、利用者が可能な限り								支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	9	5	8	2	3	0	29	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	8	5	9	2	2	0	28		通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数	7 月	17.1 名	8.32 名	710 回	1 名	8 月	17.7 名	8.96 名	701 回	0 名
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																																			
0	2	9	5	8	2	3	0	29																																																			
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																																			
0	2	8	5	9	2	2	0	28																																																			
	通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数																																																							
7 月	17.1 名	8.32 名	710 回	1 名																																																							
8 月	17.7 名	8.96 名	701 回	0 名																																																							

	住み慣れた自宅で生活を継続できるよう支援する。 ・非常災害対策の取り組み報告（消防計画、避難訓練の実施状況） ・9月1日、風水害想定訓練を実施。利用者及び職員の安否確認、職員の出勤可否・交通手段の確認、安否確認ツールの操作確認等を実施。停電時を想定、事業所設置のポータブル電源使用及びパソコン等への電源供給について確認。 ・10月23日は夜間想定した火災・避難訓練を実施予定。夜勤帯における初期対応、消防への通報、利用者の避難方法及び職員の役割分担等を確認する。 ・行事の実施報告 ・利用者の身体状況等に配慮しながら、少人数での外出や季節行事等を企画し、社会参加及び生活の質の向上につながる機会を確保していく。 ・10月25日のあすなら秋の学習会において、今回報告した排泄支援の事例について職員による事例発表を予定。 ・事故やヒヤリハットの報告（発生状況や再発防止策） 事故等の報告はなし。 ・利用者の健康管理に係る取り組み報告（熱中症や感染症等の予防策） ・熱中症及び脱水予防として、水分摂取声かけ、体調確認、室温管理等実施。熱中症及び脱水発症された方はなかった。 4. 評価・感想・ご意見・要望 ・生駒市、包括職員より ・6月の大雨による利用者の被災時に、事業所が速やかに受け入れを行い、生活を継続できるよう支援したことについて評価する。 ・地域のサロン等を活用し、認知症や生活上の困りごとが軽度の段階から地域や支援機関につながる事が重要である。 ・災害時を含め、利用者の安全確保に努めるとともに、今後も地域及び関係機関との連携を継続してほしい。 ・利用者本人の意向を尊重し、可能な限り住み慣れた地域・自宅での生活を継続できるよう、この介護サービスの柔軟性を活かし、継続してほしい。 ・定期巡回、小多機、デイ等の様々なサービスをされており、サロンもある。本人や家族に幅広い選択肢があることを伝えてゆきたい。 ・地域住民の代表より ・災害時の対応や認知症の方への支援について、地域、事業所、行政等がより緊密に情報共有できる体制づくりを希望する。 ・認知症の方を地域全体で支える為、地域住民の理解をさらに深める必要がある。 ・民生委員、自治会、事業所等が平時から情報交換を行い、地域で高齢者を見守る体制を整える必要がある。特に、災害時や緊急時にも連携できる体制を整える必要性について意見交換を行った。 ・香芝市社会福祉協議会で、「気になる会議」がある。地域で気になる人のことを意見交換し、話し合う場として開催されており関心深い。市でも調べて頂きたい。 5. 閉会のあいさつ
次回開催	令和8年11月17日（金）10:30～11:30 葉畑サロン ※オンライン開催併用

令和 8 年度 第 2 回 運営推進会議（小規模多機能型居宅介護）

事業所名	あすならホーム東生駒 多機能型ケアホーム																																																			
開催日時	令和 8 年 7 月 17 日（金）10:30～11:30																																																			
開催場所	あすならホーム東生駒																																																			
出席者	（１）利用者及びご家族 小規模多機能ご利用者家族 欠席 （２）地域・医療・介護 6 名 （３）生駒市役所 1 名 （４）地域包括支援センター 1 名 （５）協同福祉会 3 名																																																			
議題	1. 施設見学 管理者より、協同福祉会のケアについてと、その考え方に基づいた事業所内設備の説明があった（トイレでは手すりではなくテーブルによる自立支援を行うことや、キッチンからの香りで食欲や時間感覚を刺激する認知症ケア実践について、等）。通い・訪問・泊まりを組み合わせ、在宅生活を支える、自宅での生活継続に重きを置く取り組みについて、フロア内を説明しながら案内し参加者に見ていただいた。 2. 開会のあいさつ 3. 参加者自己紹介 4. 活動状況報告 ・介護度別登録状況 令和 8 年 5 月 登録者数：27 名／29 名（平均介護度：2.47） 女性：20 名 男性：7 名 平均年齢 女性：86.5 歳 男性：84.4 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>9</td><td>3</td><td>6</td><td>4</td><td>3</td><td>0</td><td>27</td></tr></table> 新規利用： 1 名、契約解除： 0 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 令和 8 年 6 月 登録者数：28 名／29 名（平均介護度：2.31） 女性：22 名 男性：6 名 平均年齢 女性：83.5 歳 男性：86.5 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>9</td><td>4</td><td>8</td><td>2</td><td>3</td><td>0</td><td>27</td></tr></table> 新規利用： 3 名、契約解除： 2 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 ・サービス別利用状況 <table><tr><td></td><td>通い（月平均）</td><td>泊り（月平均）</td><td>訪問（延べ回数）</td><td>短期利用数</td></tr><tr><td>5 月</td><td>16.7 名</td><td>8.19 名</td><td>690 回</td><td>1 名</td></tr><tr><td>6 月</td><td>16.9 名</td><td>7.96 名</td><td>746 回</td><td>4 名</td></tr></table> ・地域との連携に関する報告 東菜畑自治会へ参加、定期的に参加することで地域との接点を強化していく。コープいこまでの学習会を開催、職員による事例報告や法人の活動紹介を行い、終了後には家族からの個別相談にも対応した。 ・日常のサービス提供内容・実績（サービス事例）報告 登録者 29 名、うち 2 名入院中。1 名ががん末期の方が居られるが、本人・家族の	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	9	3	6	4	3	0	27	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	9	4	8	2	3	0	27		通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数	5 月	16.7 名	8.19 名	690 回	1 名	6 月	16.9 名	7.96 名	746 回	4 名
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																												
0	2	9	3	6	4	3	0	27																																												
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																												
0	2	9	4	8	2	3	0	27																																												
	通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数																																																
5 月	16.7 名	8.19 名	690 回	1 名																																																
6 月	16.9 名	7.96 名	746 回	4 名																																																

	意向を汲み、看取りについて調整を進めている。 短期では、6月26日大雨による床上浸水被害を受け、緊急短期利用を実施。うち1名、病院等の受入困難のため、緊急避難的に対応。現在は本利用に至っている。 ・非常災害対策の取り組み報告（消防計画、避難訓練の実施状況） 消防訓練（5月）：通報装置の確認、職員の初動確認、水消火器の操作訓練実施。 今後の訓練予定：9月に水害訓練、10月に夜間想定訓練を予定。 ※各居室入口に、即座に介助レベルを判断できるもの（トリアージ）の設置。 ・行事の実施報告 ・事故やヒヤリハットの報告（発生状況や再発防止策） 6月26日豪雨時、職員の出勤困難（電車遅延・交通渋滞）が発生。警戒レベルに応じ送迎判断と、利用者宅の被災状況確認（安否確認）の手順を再確認した。 ・利用者の健康管理に係る取り組み報告（熱中症や感染症等の予防策） 熱中症：訪問時のエアコン使用状況確認、タイマー設定、積極的水分補給の促し。 環境衛生：利用者宅の衛生環境（コバエ発生等）にも目配り、対策を講じている。 5. 評価・感想・ご意見・要望（以下に記載） ・利用者のご家族より ・生駒市、包括職員より ・地域住民の代表より 6. 閉会のあいさつ 久々の対面会議で「顔を合わせる大切さ」を再認識した。今回出された「外部からの視点」を真摯に受け止め、地域と手を携えていきたい。
意見交換 （主に災害 対応につい て）	・浸水の被害：168号バイパス東側で床上浸水が数件発生。市役所が把握された以上に状況は重く、直接施設へ助けを求められた高齢者世帯の実態を報告、共有した。 ・備蓄の課題：食料・水の備蓄（1週間分等）の必要性が議論された。施設側からは「事業経営もあり、独力での大規模備蓄は困難」との現状も示され、事業所間協定の必要性、自治会、ならコープ等との協力体制の構築を模索することで一致した。 ・地域拠点の役割：地域包括支援センターより被災後の安否確認の現状報告があった。豪雨当日よりエリア内（菜畑・門前等）で多職種による全戸訪問を実施中だが、介護サービス未利用者や自治会未加入者など「地域との繋がりが無い方」への対応が非常に困難であり、孤立世帯の早期発見が今後の大きな課題であることも分かった。あすならば「指定避難所」ではなくとも、災害時には地域の拠点として住民から頼られる存在、地域と共同での対策が必要である。
評価・要 望・助言等	<地域の方より> ・施設環境について：「床上30cmの浸水でも全て壊滅的」となる。本日の見学で、フロアの足元に物が多いとお見受けした。防災観点から整理・配慮をお願いしたい。 ・換気について：施設の構造上、換気が難しい面もあるが、扇風機の循環や空気清浄機の活用で工夫している旨を確認。現在、においなど面では問題ないが、感染症の時に生じる問題がある。 <市役所より> ・BCP（事業継続計画）の取組:今回の緊急受け入れ事例をフィードバックし、BCPへの反映をお願いしたい。

	・減免制度の周知:床上浸水被害者には、介護保険料等の減免制度があり（罹災証明が必要で対象となるか否かを判断される）、遠慮なく相談するよう広く案内してほしい。
次回開催	令和 8 年 9 月 18 日（金） 10:30～11:30 葉畑サロン ※オンライン開催併用

令和 8 年度 第 1 回 運営推進会議（小規模多機能型居宅介護）

事業所名	あすならホーム東生駒 多機能型ケアホーム																																																											
開催日時	令和 8 年 5 月 22 日（金）10:30～11:30																																																											
開催場所	菜畑サロン（オンライン参加併用）																																																											
出席者	（１）利用者及びご家族 小規模多機能ご利用者家族 欠席 （２）地域・医療・介護 5 名 （３）生駒市役所 1 名 （４）地域包括支援センター 欠席 （５）協同福祉会 3 名																																																											
議題	1. 開会のあいさつ 2. 参加者自己紹介 3. 活動状況報告 ・介護度別登録状況 令和 8 年 3 月 登録者数：26 名／29 名（平均介護度：2.62） 女性：19 名 男性：7 名 平均年齢 女性：86.1 歳 男性：83.0 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>7</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td>26</td></tr></table> 新規利用： 1 名、契約解除： 1 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 令和 8 年 4 月 登録者数：26 名／29 名（平均介護度：2.54） 女性：19 名 男性：7 名 平均年齢 女性：87.0 歳 男性：83.1 歳 <table><tr><td>支 1</td><td>支 2</td><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>2</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td>26</td></tr></table> 新規利用： 0 名、契約解除： 0 名、入院者： 0 名、利用再開： 0 名 ・サービス別利用状況 <table><tr><td></td><td>通い（月平均）</td><td>泊り（月平均）</td><td>訪問（延べ回数）</td><td>短期利用数</td></tr><tr><td>3 月</td><td>16.2 名</td><td>7.16 名</td><td>683 回</td><td>1 名</td></tr><tr><td>4 月</td><td>16.6 名</td><td>7.63 名</td><td>664 回</td><td>1 名</td></tr></table> ・地域との連携に関する報告 ・東生駒自治会総会への出席依頼を受け、参加予定。 ・日常のサービス提供内容・実績（サービス事例）報告 ・緊急ショートを 3 月・4 月で各 1 名受け入れた。いずれも主介護者(奥様)の急な入院に伴う緊急的な支援となった。 ・改善事例として、あすなら学習会での事例発表内容を報告した。ターミナル期と判断された利用者が、医療との連携とあすなら 10 の基本ケアの実施、「ご本人を寝たきりにしない」取り組みにより、ご本人が回復された。6 月 24 日(水)ならコープいこま店においても、事例発表する予定。 ・非常災害対策の取り組み報告（消防計画、避難訓練の実施状況）									支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	7	4	7	3	3	0	26	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	0	2	7	6	5	3	3	0	26		通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数	3 月	16.2 名	7.16 名	683 回	1 名	4 月	16.6 名	7.63 名	664 回	1 名
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																																				
0	2	7	4	7	3	3	0	26																																																				
支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																																				
0	2	7	6	5	3	3	0	26																																																				
	通い（月平均）	泊り（月平均）	訪問（延べ回数）	短期利用数																																																								
3 月	16.2 名	7.16 名	683 回	1 名																																																								
4 月	16.6 名	7.63 名	664 回	1 名																																																								

- ・消防訓練実施(5/21)。通報装置の操作、水消火器訓練を通じ、学んだ。
- ・5/2 震度 3～4 の地震発生時、アプリを用いて職員・利用者の安否確認を実施。
- ・行事の実施報告
 - ・おやつレクリエーションを月 1 回、職員企画により実施。外出支援実施出来ず。
- ・事故やヒヤリハットの報告（発生状況や再発防止策）
 - ・バルーン抜去（入浴介助中、移動時）…出血等の外傷はなかったが、移乗時の注意点を職員間で共有した。
 - ・夜間ご自宅での転倒…テレビ電話での救助要請あるも、東生駒夜勤者は単独のため、菜畑定期巡回夜勤者と連携、定期巡回夜勤者の訪問により対応した。
- ・利用者の健康管理に係る取組み報告（熱中症や感染症等の予防策）
 - ・熱中症予防として、訪問時に室温調整（エアコン）や水分補給促す。独居者への声かけを強化。
 - ・感染症対策：3 月末、職員・利用者計 6 名が新型コロナウイルスに感染。1 名はインフルエンザ A 型に感染。感染期間中は、訪問サービスによる食事提供と排泄介助を行い、在宅生活維持を支援した。

4. 評価・感想・ご意見・要望

- ・利用者のご家族より ご参加なし
- ・生駒市、包括職員より
 - ・勉強になった。現場の職員のご苦労をお聞きし「(介護で)こんなことが出来たら良いな」を実現して頂いていることを実感した。普段は介護認定業務が中心だが、認定申請に来られる家族は強い不安を抱えているため、先の生活のイメージがつかない方々、どのように支援してもらえるのか不安を抱えた方々に、「現場には温かい支援者が待っている」という具体的なイメージを伝えることが出来そう。ご本人や家族の安心に繋げてゆきたい。
- ・地域住民の代表より
 - ・小規模多機能の広報について、対象をお聞きしたい。
 管理者）居宅支援事業所を 6～7 件まわった。小規模多機能のサービスの良さを
 お伝えすることが大切だと思っている。
 - ・ターミナル期と判断された方が「あすなら 10 の基本ケア」の実践により、歩行可能になるまで回復した事例をお聞きし、ご本人の力を信じ、諦めない支援が重要であることを感じた。良いサービスは、紹介してゆきたい。
 施設長）単なるお世話ではなく、職員との関わり「人と人との接点」を重視した
 ケアを継続したことで、回復した事例は多くある。医師よりターミナル期とされ
 余命宣告された方でも、その時期を超えてもなお、ご自宅での生活を維持するこ
 とが出来た事例もあった。
 - ・介護が必要になる前の元気なうちから、あすならサロンに参加し、職員と顔を繋
 いでおくことが、将来への備えとなる。更なる情報発信し続ける姿勢が不可欠であ
 る。
 - ・熱中症対策が難しい。認知症で独居の方の訪問をしたが、エアコンは使われず、
 リモコンも見当たらない。「水分補給をコップ 1 日 6 杯(1.2L)取りましょう」と対
 応してきたが…職員さんもこれからの季節、注意をお願いしたい。

	施設長）エアコンを付けない方は多くおられる。我々も気を付けながら、訪問を実施している。菜畑定期巡回は熱中症予防として、頻回な訪問を実施している。 5. 閉会のあいさつ 本日は良い事例を紹介したが、実際うまくいかない事例もある。全ての利用者様にとって私たちの力では解決出来ないこともあり、地域の介護サービスや多職種の方々と連携し、地域の方々を支えてゆきたい。引き続きご協力をお願いしたい。
次回開催	令和 8 年 7 月 17 日（金） 10:30～11:30 あすならホーム東生駒にて ※オンライン開催なし